

# 衆議院内閣委員会ニュース

平成 30. 3. 15 第 196 回国会第 4 号

3 月 15 日（木）、第 4 回の委員会が開かれました。

## 1 子ども・子育て支援法の一部を改正する法律案（内閣提出第 6 号）

- ・松山国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成一自民、公明、維新 欠席一立憲、希望、無会、共産、自由）

（質疑者及び主な質疑内容）

### 永岡桂子君（自民）

- ・昨年 6 月 2 日に公表された「子育て安心プラン」の内容及び同プランの実現に向けて本法律案が果たす役割を松山国務大臣に伺いたい。
- ・今年度から実施されている技能・経験に応じた保育士等の処遇改善は、職員構成等に応じて各施設の裁量で対象者の決定及び配分が可能なことから、不公平感につながっているとの現場の声もあるが、こうした声を踏まえた今後の同処遇改善の運用方針について政府に伺いたい。
- ・企業主導型保育施設は、地域枠を設ける場合は一律に定員の 50%以内となっているが、従業員の子どもの利用が定員の 50%に満たない場合、政府はどのように対処しているのか伺いたい。

### 濱村進君（公明）

- ・三世代同居に向けた住宅の建設や既存住宅のリフォーム

への支援策について、その予算の執行状況及び効果を伺いたい。

- ・企業主導型保育事業については、企業における多様な働き方と一体となって議論すべきと考えるが、松山国務大臣の所見を伺いたい。
- ・幼児教育の質の向上について、政府としてどのような問題意識を持っているか伺いたい。

### 浦野靖人君（維新）

- ・現在の保育の質を確保するための最低基準を決めた根拠、国の考え方を伺いたい。
- ・上乘せ基準で保育を行っている保育園と最低基準で保育を行っている保育園で、卒園した子どもにどのような違いがあるか分かるデータの有無を伺いたい。
- ・中小零細企業における事業主拠出金の負担感が大きいので配慮してほしいとの榊原経団連会長の意見に対し、国はどのような対応をとるのか伺いたい。